PART2 西ヨーロッパの繁栄

Chapter1　イギリス革命と議会政治の確立

目標
イギリスの政治制度の変遷を学ぼう。
世界初の市民革命を起こし立憲君主政を確立した国を知ろう。

1　イギリス革命

①イギリス王ジェームズ 1 世の王権神授説
専制君主政に対し，市民層やピューリタンの不満高まる。

②**権利の請願**（1628年）
これに反対したチャールズ 1 世は，翌年に議会を解散し，以後 11年間議会を開かず。

③**イギリス革命**（1640～60年）の開始
1642年には**王党派**と**議会派**の間に内戦が勃発。まもなく議会派は長老派と**独立派**に分裂。
ピューリタン〔清教徒〕革命とも呼ぶ**初の市民革命**が始まる。

④〔　　　　　　　　　　〕による〔　　　　〕**政**成立（1649年）
独立派のクロムウェルは, 1643年に鉄騎隊を編制して王党派を攻撃, 議会派を勝利に導く。
その後，穏健的な長老派を追放し，チャールズ 1 世を**処刑**した。

A　急進的な水平派・真正水平派も弾圧

B　アイルランドに続きスコットランドも征服

C　航海法の制定（1651年）→中継貿易で繁栄していたオランダに打撃

D　第 1 次イギリス＝オランダ戦争（1652～54年）
その後 3 次まで続きイギリスの優位に終わる

E　クロムウェルが終身の護国卿となる（1653年）
厳格な軍事独裁体制を敷くが 1658年に亡くなる

クロムウェル

2　イギリス議会政治の確立

①チャールズ 2 世による**王政復古**（1660年）→議会を尊重する約束で即位
のち専制的な姿勢でカトリックの擁護を試みて議会と対立。

②官吏を国教徒に限定する審査法を制定（1673年）

③国王による恣意的な逮捕・投獄を禁じる人身保護法を制定（1679年）

④二大政党成立（1670年代末頃）

A　トーリ党（のち保守党）→国王の権威を重んずる

B　ホイッグ党（のち自由党）→議会の権利を主張する

⑤［　　　　］**革命**（1688～89年）→世界初の議会主権に基づく**立憲君主政**の確立

A　ジェームズ２世がカトリックと絶対王政の復活を図る

B　両党派がオランダ総督ウィレム３世を招く（1688年）

ジェームズ２世の長女メアリの夫

C　議会が「権利の宣言」をまとめウィレム・メアリ夫妻が受け入れる

D　ウィリアム３世とメアリ２世としてともに王位に就き共同統治（1689年）

議会が「権利の宣言」を「［　　　　　　　　　　］」として発布

⑥**大ブリテン王国**の成立（1707年）

メアリ２世の妹であるアン女王の治世中，イングランドとスコットランドが合併。

⑦ジョージ１世によるハノーヴァー朝の創始（1714年）

アンの死後，遠縁にあたるドイツのハノーヴァー選帝侯が国王に迎えられる。

⑧ホイッグ党の［　　　　　　　　　　］を首相に**責任内閣制**がスタート（1721年）

「国王は君臨すれども統治せず」

⑨大ブリテン＝アイルランド連合王国の成立（1801年）

ジョージ３世のときアイルランドを併合。

1660年ころのイギリス

まとめ　イギリスは，専制君主政→共和政→立憲君主政と変化した。
世界で初めて市民革命を起こし立憲君主政を確立したのはイギリスである。

Chapter2　フランスとプロイセン・オーストリアの動向

目標　ルイ 14 世時代のフランスが財政難を招いた要因について学ぼう。
プロイセンやオーストリアで展開された啓蒙専制主義の特徴を知ろう。

1　フランスの絶対王政

①**フランス**の「太陽王」〔　　　　　　　　　　　〕の親政→宰相マザランの死後

A　財務総監コルベールの重商主義政策→東インド会社を再建

B　〔　　　　　　　　　　　〕**宮殿**の建造

C　「朕は国家なり」→王権による中央集権化は漸進的

②対外戦争の連続

A　南ネーデルラント継承戦争（1667～68年）

B　オランダ戦争（1672～78年）

C　ファルツ戦争（1688～97年）

D　スペイン継承戦争（1701～13年）→ユトレヒト条約で終結

あ　西・仏は合同しない条件でブルボン家のスペイン王位継承を各国が承認

い　オーストリアの背後にいたイギリスが実質的な勝利者

③莫大な宮廷費と戦費→国民の不満

A　多額の税負担

B　ナントの王令の廃止（1685年）→ユグノーの商工業者が大量に亡命

C　ルイ15世の即位（1715年）→ルイ14世の曾孫だが指導力に欠けた

ヴェルサイユ宮殿

ルイ 14 世

2　プロイセン・オーストリアの啓蒙専制主義

①〔　　　　　　　　　　〕の成長→「上からの近代化」を進める

A　フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世

B　**フリードリヒ２世（大王）**→「君主は国家第一の僕」

バイエルン公・フランスとともにイギリスが支援するオーストリアと戦い，**シュレジエン**を獲得（オーストリア継承戦争，1740～48年）

C　**啓蒙専制主義**

〔　　　　　　　　〕と呼ばれる領主層を支柱とする非近代的性格の強い統治

②〔　　　　　　　　　　〕の成長→「上からの近代化」を進める

A　**マリア＝テレジア**

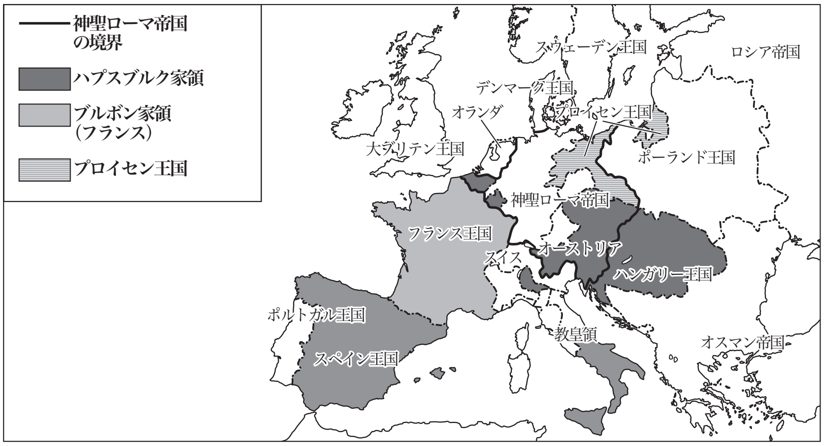
イギリスとともにバイエルン公・フランスが支援するプロイセンと戦い，シュレジエンを失う（オーストリア継承戦争，1740～48年）

B　ヨーゼフ２世の**啓蒙専制主義**

中央集権主義的な改革は特権を守ろうとする貴族や地域社会から強い抵抗を受ける

※画一的すぎて各地の民族感情の反発を招く。

マリア＝テレジア



18世紀半ばのヨーロッパ

まとめ

ルイ14世時代のフランスは，対外戦争の連続で財政難を招いた。
啓蒙専制主義は，民衆ではなく君主が「上からの改革」するのが特徴。

第２講　PART2　確認問題

1　国王の専制政治を批判し，1628年にイギリスの議会で可決されたものは何か。

①　権利の章典　②　権利の請願
③　大憲章　④　権利の宣言

2　クロムウェルが処刑したイギリス国王はだれか。

①　ジェームズ１世　②　ジェームズ２世
③　チャールズ１世　④　チャールズ２世

3　クロムウェルの死後，イギリス国王として迎え入れられたのはだれか。

①　チャールズ１世　②　チャールズ２世
③　ジョージ１世　④　ウィリアム３世

4　1714年にジョージ１世が創始した王朝を何というか。

①　ステュアート朝　②　プランタジネット朝
③　テューダー朝　④　ハノーヴァー朝

5　フランスでルイ14世時代に活躍した財務総監はだれか。

①　ウォルポール　②　コルベール
③　グラッドストン　④　ディズレーリ

6 ルイ14世がパリ郊外に建造した宮殿は何か。

① アルハンブラ宮殿　② サンスーシ宮殿
③ ヴェルサイユ宮殿　④ ポタラ宮殿

7 スペイン継承戦争の講和条約として結ばれた条約は何か。

① アミアンの和約　② パリ条約
③ ユトレヒト条約　④ ウェストファリア条約

8 オーストリア継承戦争でシュレジエンを獲得したプロイセン国王はだれか。

① ヴィルヘルム１世　② ヴィルヘルム２世
③ フリードリヒ２世　④ フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世

9 プロイセンの啓蒙専制主義を支えた領主層を何というか。

① ユンカー　② ジェントリ
③ ヨーマン　④ プランター

10 オーストリアのマリア＝テレジアと関連するものはどれか。

① 啓蒙専制主義　② ナントの王令廃止
③ 航海法　④ 外交革命

第 2 講　PART2　確認問題 解答

1 **解答：②**　権利の請願に反対したチャールズ 1 世は，翌年に議会を解散し，以後 11 年間議会を開かなかった。

①：1689 年, 名誉革命後に発布された, 権利の宣言を成文化したもの。
③：1215 年，イギリスの国王ジョンに，王権の制限，貴族の特権などを認めさせた文書。マグナ＝カルタとも呼ばれる。
④：1689 年，イギリス議会が王権の制限，国民の諸権利などについてまとめたもの。

2 **解答：③**　クロムウェルは, 1649 年にチャールズ 1 世を処刑し, 共和政を打ちたてた。

①：王権神授説を唱えた。
②：チャールズ 2 世の弟で, カトリックと絶対王政の復活につとめた。
④：クロムウェルの死後，国王として迎えられた（王政復古）。

3 **解答：②**　チャールズ 2 世は，議会を尊重することを約束して国王となった。

①：クロムウェルに処刑された。
③：ハノーヴァー朝を創始した。
④：ジェームズ 2 世の長女メアリの夫で，名誉革命の際に迎え入れられた。

4 **解答：④**　アン女王の死後，遠縁にあたるドイツのハノーヴァー選帝侯が国王に迎えられて始まった。

①：1371 年にロバート 2 世が創始し，ピューリタン〔清教徒〕革命で倒された王朝。
②：1154 年にヘンリ 2 世が創始した王朝。
③：ヘンリ 7 世からエリザベス 1 世までの，イギリス絶対王政全盛期の王朝。

5 **解答：②**　コルベールは重商主義政策をとり，東インド会社を再建した。

①：責任内閣制が始まるきっかけをつくったハノーヴァー朝時代の首相。
③：ヴィクトリア朝時代の自由党所属の首相。
④：ヴィクトリア朝時代の保守党所属の首相。

6 **解答：③**　フランスの絶対王政を象徴する建築で，宮廷には貴族や芸術家が集められた。

①：スペインのグラナダに残る，イスラーム王朝ナスル朝の宮殿。
②：プロイセンのフリードリヒ 2 世がベルリン郊外ポツダムに建造した宮殿。
④：チベットの首都ラサにある，チベット仏教の教主ダライ = ラマの居城。

7 解答：③　ユトレヒト条約では，スペインとフランスは合同しない条件でブルボン家のスペイン王位継承を各国が承認した。

①：ナポレオンとイギリスとの間で締結された講和条約。
②：七年戦争やフレンチ＝インディアン戦争など英仏植民地抗争の講和条約。
④：三十年戦争の講和条約。

8 解答：③　大王とも呼ばれ，「君主は国家第一の僕」を自称した。

①：ドイツ帝国の初代皇帝。
②：第一次世界大戦時のドイツ帝国皇帝。
④：絶対王政の基礎をつくりあげた，プロイセン 2 代目の国王。

9 解答：①　フリードリヒ 2 世が行った啓蒙専制主義による統治は，ユンカーと呼ばれる領主層を支柱とする非近代的性格の強いものであった。

②：中世末期から近世初頭のイギリスにおいて，騎士や富裕な平民が地主化した階層。
③：中世のイギリスにおける独立自営農民のこと。
④：大農園経営者のこと。

10 解答：④　マリア＝テレジアは「外交革命」でフランスと同盟を結んだ。

①：プロイセンのフリードリヒ 2 世やオーストリアのヨーゼフ 2 世と関連がある。
②：フランスのルイ 14 世が行った。
③：イギリスのクロムウェルが制定した。